

国際シンポジウム2016

堆積物から 噴火の歴史 を読み取る

— 火山山麓の湖から —

火山山麓の湖の堆積物には、噴火による自然環境への影響など
過去の火山活動の歴史が記録されています。

国内外の研究者を招き、富士五湖の堆積物から、


富士山の噴火についてどのようなことがわかるのか考えます。

参加費
無料

同時
通訳付

申込み
不要

どなたでもご参加いただけます

日時：2017年1月22日  10:00~16:00

会場：富士吉田市民会館 小ホール

山梨県富士吉田市緑ヶ丘2-5-23 ▶富士急行線 月江寺駅下車徒歩3分

●●● 講師 ●●●

Marc De Batist (ゲント大学)

横山祐典 (東京大学大気海洋研究所)

Aurélia Hubert-Ferrari (リエージュ大学)

長橋良隆 (福島大学)

Stephen Obrochta (秋田大学)

青木かおり (立正大学環境科学研究所)

吉本充宏 (山梨県富士山科学研究所)

山本真也 (山梨県富士山科学研究所)

お問い合わせ

国際シンポジウム 2016 プログラム

2017年1月22日(日) 10:00-16:00 司会進行：内山 高(山梨県富士山科学研究所 主幹研究員・火山防災研究部部長)	
10:00-10:05	開会の挨拶 藤井敏嗣(山梨県富士山科学研究所 所長)
10:05-10:15	趣旨説明 山本真也(山梨県富士山科学研究所 研究員)
10:15-10:45	講演1「湖成堆積物におけるテフラ研究の利点：噴火様式の復元と噴火史の構築」 長橋良隆(福島大学共生システム理工学類 教授)
10:45-11:15	講演2「北西太平洋の海底堆積物から見た日本の火山噴火史」 青木かおり(立正大学環境科学研究所 客員研究員)
11:15-11:30	休 憩
11:30-12:00	講演3「過去の火山活動を記録する湖沼堆積物 ーチリ・ピラリカ火山の過去 600年間の噴火史の復元」 Marc De Batist(ベルギー王国 ゲント大学 教授)
12:00-13:00	昼 食
13:00-13:30	講演4「それはいつ起こったか？地層に埋め込まれた時計が示す過去の出来事」 横山祐典(東京大学大気海洋研究所 教授)
13:30-13:45	講演5「富士山の噴火履歴の研究とその問題点」 吉本充宏(山梨県富士山科学研究所 主任研究員)
13:45-14:00	講演6「山中湖の湖底から見つかった噴火による植生変化の証拠」 山本真也(山梨県富士山科学研究所 研究員)
14:00-14:30	講演7「偏西風・モンスーン強度復元のための富士五湖堆積物の層序学的枠組み」 Stephen Obrochta(秋田大学国際資源学部 准教授)
14:30-15:00	講演8「富士五湖で起こった火山噴火、地震、地すべりに伴う大規模な環境変化 ー湖調査で見つかった新たな証拠」 Aurélia Hubert-Ferrari(ベルギー王国 リエージュ大学 教授)
15:00-15:20	休 憩
15:20-15:55	質疑応答 / 総合討論
15:55-16:00	閉会の挨拶 山下 宏(山梨県富士山科学研究所 副所長)

※講演タイトルは変更になる場合があります。

国際シンポジウム 2016 昼食申込

当日の昼食を斡旋します。代金(500円)は当日受付にて徴収します。

ご希望の方は、下記に必要事項を記入の上、1月13日(金)までにFAXまたはE-mailでお申込みください。

氏名	所属	連絡先	昼食
			要
			要
			要

お問い合わせ